



## 令和4年第3回定例会 ご報告

ひとり親子育て世帯への特別給付金支給事業約12億円(児童一人当たり5万円)、本市が国から「脱炭素先行地域」に選定されたことに伴う太陽光発電設備等に対する補助金事業約8.6億円等、計46億円の補正予算が可決されました。

市政一般にあたっては、民間活用範囲を広げた「市民館・図書館の管理運営の考え方」、「物価高騰が学校給食に及ぼす影響と今後の支援について」、「小学校における校庭開放及び教室シェアリング事業」、「市立小中学校におけるマスク着脱について(熱中症対策)」等、答弁含め計246分に渡って代表質問が行われました。

### 扇島地区土地利用方針の策定に向けて

令和5年9月末を目途に高炉等の休止が公表されている「JFEスチール(株)東日本製鉄所京浜地区」の大部分を占める扇島地区はディズニーリゾートの総面積を超え、将来の利活用のあり方の検討は、本市史上最大の取組である一方、使命感と責任感は重大です。

今回の代表質問において、「ネームバリューを高めるために(専門家や有識者だけでなく)有力な投資家や実業家を登用し、投資を促し、予算を確保しての企業の誘致には、市長のトップセールスが求められる」と指摘しました。

引き続き、国策誘導をはじめ、あらゆる産業を刺激し、川崎臨海部の未来の顔となるよう、取組んで参ります。

7月10日施行の参議院議員選挙におきまして、神奈川県選挙区では、自民党公認の三原じゅん子さんと浅尾慶一郎さんのお二人共目標であった4位以内の当選を果たすことができました。

しかしながら、選挙期間中には安倍晋三元内閣総理大臣が凶弾に倒れるという事件が発生いたしました。

このような蛮行は決して許されるものではなく、強く非難すると共に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

6月29日まで開催されました、令和4年第3回川崎市議会定例会についてご報告いたします。

加藤孝明

### 特別自治市制度実現へ 要望活動を活発化

我が会派が市長と共に実現を目指す「特別自治市制度」について、本定例会においても議論を行いました。

5月に行われた「県・横浜・川崎・相模原、4首長懇談会」において、県から示された「特別自治市構想～住民目線から見た制度概要～」について、我が会派は「住民目線ではなく県の都合の良い解釈ではないか」と市長に見解を求めたところ、市長からも同様の答弁がありました。

本定例会に先立ち、我が党市内選出の国会議員への要望活動も市長と共に進めており、国を巻き込んだ議論の加速が待たれます。我々は引き続き、市長側との足並みを揃えつつ、政権与党としての国との連携力を活かし、特別自治市制度の実現に向けてリーダーシップを発揮して参ります。

#### ▶特別自治市とは？

- ・川崎市が神奈川県以外の区域外となる制度
- ・川崎市が県の機能を全てもち、権限と財源を市に一本化
- ・二重行政を解消し、無駄の削減
- ・より素早い対応が可能に

### 川崎市議会議員 加藤孝明

#### ▶profile



- ・1987(昭和62)年2月26日生
- ・川崎市幸区南加瀬在住
- ・令和3年10月初当選1期
- ・文教委員会(令和4年度)
- ・衆議院議員 元公設秘書
- ・党川崎市幸区第六支部支部長
- ・党幸区連合支部 青年局長
- ・党川崎市連 青年局 副局長
- ・党川崎市連 公報副委員長
- ・党川崎市連 政務調査委員
- ・党川崎市連 基本問題対策委員 (都市問題担当)
- ・幸消防団 第四分団 所属
- ・趣味：スポーツ

#### ▶政務活動事務所

(自民党川崎市幸区第六支部)

〒212-0054

川崎市幸区小倉 2-17-11-101

TEL:044-589-3935

FAX:044-589-3937

メール:mail@kato.news

#### ▶各種 SNS



## 加藤による主な質問内容

## 令和4年第3回定例会

## 市立小中学校における保護者等への配布資料のデジタル化について

## ①加藤

かわさき GIGA スクール構想並びに ICT 化の推進により、教育を取り巻く環境は様々な面で変化しているが、保護者等への配布資料のデジタル化は難航しており、改変を求める声が聞こえている。また、学校を欠席した際、感染症対策として近所の友人等に配布資料を届けてもらうことができず、登校時にまとめて受け取るため、情報の遅れ等を懸念する声も聞こえている。更に、学校による取組状況には差異が見受けられるため、我が会派の代表質問において一層の取組を要望した。

そこで、本市が導入しているミマモルメ及び Google グループウェアの活用状況と、学校による取組状況に差異が生じている要因、今後の対応は？今後導入が検討される新たなツールと目的は？併せて、欠席時の資料配布における考えは？

## ①教育次長

システムの活用状況については、児童生徒の安全に関わる緊急情報を原則とし、各学校において状況に応じて情報配信の内容を決定している。

Google ワークスペースについては、様々な機能が活用されているが、各学校の状況により差異が生じている。

新たなツールについては、学校と保護者の連絡の円滑化に資するため、導入に向けた検討を進めていく。

欠席時の配布資料については、Google クラウドの活用が進んでおり、今後更なる活用に向けて事例の共有を図る。

## ②加藤

学校による取組状況に差異が生じている要因について明確な答弁がなかったが、各学校や校長による考え方や方向性の違い、教職員ごとの得意不得意が大きな要因になっていると推測できる。状況に応じた内容決定には納得するが、得意不得意が理由とはならぬよう、活用の促進と研修の拡大、好事例の周知をし、着実な取組の推進を要望する。

署名・押印・返信等が必要となる資料におけるデジタル化の進捗状況は？保護者等により提出された資料の管理体制は？

## ②教育次長

デジタル化が進んでいるが紙でのやり取りも残されているため、取組の推進が必要だと認識している。管理については、関係規定に基づき適切に整理することとされている。

## ③加藤

本市で導入されているメール配信システムは、学校から保護者等への一方向のみのシステムなため、本システムを用いて返信することはできない。デジタル化の進行により、利便性の向上はもとより、喫緊の課題となっている教職員の負担軽減等、多くの効果が期待できるが、紙で提出された書類をデータ入力し、更に紙の提出書類自体も管理するのでは、紙とシステムの二重管理となり逆に非効率だと言わざるを得ない。

保護者等の電子署名活用への見解は？

## ③教育次長

今後、適切に対応していく。

## ④加藤

改めて市立小中学校における保護者等へのデジタル化の今後の展望を。

## ④教育次長

情報セキュリティの確保や、配慮を要する家庭への対応等、想定される課題に的確に対応しながら、取組を推進していく。

## 幸区総合防災訓練について

## ①加藤

6月5日に約3年ぶりとなる幸区総合防災訓練が実施されたが、実施できなかったこの間、地域防災力の低下が懸念されていた。

久方ぶりの実施となった今回の防災訓練の目的と成果、新たな気づき等は？実施できなかった間の取組は？当日は先立って多摩川美化活動が実施され、その後防災訓練会場へと移動された方たちも見受けられたが、日時の設定に至った経緯と両行事への影響は？

## ①幸区長

防災訓練については、地域の自立型防災力の向上に向け、防災意識の高揚と災害対応力の向上を図ることを目的に実施。成果としては、地域と実際に避難所運営に従事する区の職員との顔の見える関係の構築や、各々が対応する業務の共通意識等、市民と行政の相互理解が深められたと考える。新たな気づきとして、多くの興味を集めた訓練の取組を、区民祭等様々な行事に取り入れていくことも有効ではないかと感じたところ。訓練ができなかった間の取組については、自主防災組織ごとの訓練等、コロナ禍でもできる範囲の取組を行ってきた。

日時の設定経緯については、幸区制50周年記念事業等の行事日程等を勘案して決定した。影響については、半日で両方の参加が可能となった一方で、別の参加者に依頼している地域もあったため、今後は、関係団体の意見を伺いながら設定していく。

## ②加藤

実施すること自体が目的となつてはならない。多くの方が参加でき実りの多い行事となるよう対応を要望する。

人口増加の続く本市においては、新たな住民への地域の特色を理解した防災意識の向上も課題と考えるが、取組は？併せて、自主防災組織の活性化に向けた取組は？

## ②幸区長

新たな住民に対しては、区の転入手続き時に町内会・自治会への加入パンフレットを配布し、地域における防災活動を支える町内会・自治会への加入の必要性を伝えることで努めており、まずは加入促進により防災訓練への参加者を増やし、自主防災組織の活性化に繋げたいと考えている。また、新たなマンション等についても、自主防災組織を結成していただくよう働きかけを行っており、今月も新たに1団体立ち上がった。

## ③加藤

隣接する川崎区と横浜市鶴見区との間で包括連携協定を結び、災害発生時における連携強化を図っているが、取組状況と今後の展望は？併せて、区独自の今年度の計画は？

## ③幸区長

取組状況としては、避難所の相互利用や情報の共有化に向けて定期的に3区長による合同会議を開催し、連携を図っている。今回の防災訓練では、鶴見区の防災啓発ブースを出展いただいた。今後については、コロナ禍で開催できなかった対面での合同会議にて、意見交換を行う予定でいる。

区独自の計画については、町内会単位の地区防災計画を1地区で策定する予定のため、その結果を3地区で共有する等、取組を推進していく。

## 幸区利便性アンケートについて

幸区では、区役所のアクセスに関する利便性についてアンケートを実施し、2,536通の回答を得た。現在集計中とのことで、区民の声を無駄にすることなく、区政に反映するよう要望。

## その他質問に関して

川崎市議会インターネット議会録画中継をご覧ください。➡

